



平成 27 年 3 月 9 日

各 位

会 社 名 アプリックス IP ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 兼 取締役社長 郡 山 龍  
(コード：3727、東証マザーズ)  
問合せ先 代表取締役 兼 取締役社長 郡 山 龍  
(TEL. 050-3786-1715)

## 中期経営計画の上方修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 2 月 13 日付「中期経営計画の策定に関するお知らせ」で公表いたしました平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）から平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）までの 3 年間を対象とした中期経営計画について、下記のとおり上方修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 修正の理由

平成 27 年 2 月 13 日に発表いたしました中期経営計画のとおり、当社グループでは、総合エンターテインメント関連事業を中心とする事業構造から、テクノロジー関連事業を中心とする事業構造への転換に加えて、①平成 19 年より研究開発を進めて来た M2M (Machine to Machine : 機器間通信) 関連のソフトウェア技術と、②マサチューセッツ工科大学 (MIT) の卒業生が創業し、平成 21 年に当社が買収した米国 Zeemote 社が平成 17 年より研究開発を進めてきた M2M 関連のハードウェア技術を組み合わせた、「IoT (Internet of Things : モノのインターネット) を実現する技術」を競争力の源泉として、「機器からの通知 (Beacon) を起点とし、人々の生活を豊かにする情報を提供するサービスによって収益を上げる」という新しいビジネスモデルを展開しております。

従来の M2M 技術は、外部から機器の操作を行ったり、機器の内部の情報を取得してクラウドに蓄積したりすることに使われていましたが、当社の IoT 技術「ビーコン」は、Bluetooth Low Energy (低消費電力で通信が可能な近距離無線通信技術 Bluetooth の拡張仕様の一つ) の技術を用いて開発した通信用ハードウェアによって、機器が自ら状態を通知し、その通知内容を基に当社が独自に開発したクラウドサービスによって、人々の生活を豊かにする情報を提供いたします。

当社のビーコンは、センサーにより環境や機器の状態の変化を検出し、付加情報とともにタイムリーにスマートフォンに通知します。たとえば、空気清浄機が花粉の量とともにフィルターの汚れ具合を通知してくれたり、コーヒーマーカーや湯沸かしポットができ上がりを通知してくれたりします。この機能により、汚れたフィルターからの有害物質によって体調を崩したり、準備ができたことに気付かなかったり、でき上がりのタイミングを逃したりといった、日常のストレスからの解放等の効果が期待される商品です。

今後成長ドライバーとなる、当社 IoT 関連事業での新しいビジネスモデルでは、フィルター等の消耗品や消費財の販売増による家電製品や家庭用品メーカーの増加収益からのレベニューシェアとともに、家電製品や家庭用品の購入者に対して利便性を向上させる情報を提供したい小売業やサービス業等の様々な事業者からの情報配信による収入により、ハードウェアの販売やソフトウェアの利用料以上の収益を確保できると考えております。

現在、IoT 市場が急速に成長する中 (IDC Japan 株式会社「国内 IoT 市場 2014 年の推定と 2015 年～2019 年の予測」参考)、Bluetooth Low Energy の技術を用いて開発された家電製品向けのリモコンモジュールなどが他社より発表され、転用すれば当社のビジネスモデルを模倣することが将来的には可能なため、競合が現れる危険性が日増しに高まってきていると考えております。

ご注意：本リリースは、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。  
本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。  
よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

そこで、当社の先行者メリットを最大限に活かし市場競争力を強化したいという考えのもと、割引価格での製品提供やインセンティブプランの導入など、顧客での採用を促す販売促進策を行うという新たな方針を機関決定したため、ビーコン製品の製造および販売の数量を増やすことになり、希薄化による既存株主への影響を上回る株主価値を実現する等の方法で更なる資金を市場から調達して、価格競争力の向上のために部品や部材等の原材料および生産ラインを確保することといたしました。

IoT の普及に伴う市場の拡大により通信用ハードウェア製品の市場での生産量が増え、製造コストも急激に下がることは予想されますが、より多くの大量普及品の家電製品や家庭用品に当社製品を採用してもらうためには、市場の拡大に伴って生産量が増え、製造コストが下がるのを待つのではなく、今すぐ競争力の高い販売価格を設定する必要があります。早急な競争力の獲得のため、現在の生産ラインに加えて中国等の製造事業者の開拓による大量発注・大量生産体制も既に整っており、新たに調達した資金は速やかに製品の大量発注に充当いたします。

この度、新たな資金を調達することにより当社製品の大量生産に伴う高い価格競争力を獲得し、市場の拡大に伴い生産量が増えることによって市場価格が下がることを予め見込んで、速やかに当社販売価格を大幅に引き下げるとともに、家電製品や家庭用品のメーカーとのレベニューシェアを中心としたインセンティブ等の収益分配モデルにより、個々の最終製品に添加される目標価格をも「未来の価格※」にまで引き下げ、市場占有率を高めながら事業の更なる成長を目指してまいります。

なお、当該資金調達の詳細につきましては、本日別途開示いたしました「第三者割当による新株式の発行及び株式買取契約の締結並びに第 D-1 回～第 D-3 回新株予約権の発行及び新株予約権買取契約（行使許可条項付・ターゲット・イシュー・プログラム「T I P」）の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

#### ※ 安くなることを予測する「未来の価格」

一九六〇年代はじめにフェアチャイルド・セミコンダクター社は、開発もないトランジスタ 1 2 1 1 を陸軍に売っていた。製造コストは一個 1 0 0 ドルもした。同社は、エレクトロニクスメーカーの RCA が新しい UHF テレビチューナーにトランジスタを使うことを期待した。当時の RCA は一個 1 ドル 5 セントの真空管を使っていた。

フェアチャイルド社の伝説的創業者であるロバート・ノイスと、エース営業マンのジェリー・サンダースは、トランジスタの生産量が増えれば、コストも急激に下がることがわかっていた。だが、はじめて民間に売り込むためには、生産量が増えるまで待つのではなく、今すぐ価格を下げる必要があった。そこで彼らは価格を下げた。それも大幅に。トランジスタ 1 2 1 1 の価格をはじめから 1 ドル 5 セントにしたのだ。どうすればそこまで安くできるのかは、その時点では誰にもわからなかった。サンダースは回想する。「われわれはまだ建ててもない工場で、まだ開発していない工程によりチップをつくることになりましたが、結論ははっきりしていました。つまり、来週には 1 ドル 5 セントという値段をつけることです。われわれは未来の価格で売ったのです。」

その価格戦略は成功した。価格の下降カーブを追い越した 1 ドル 5 セントという価格付けで、UHF チューナーの市場で九割のシェアを占めた。二年後には 1 2 1 1 の価格を 5 0 セントに下げても、まだ利益を出すことができるようになった。ケヴィン・ケリーはその著書「ニューエコノミー勝者の条件」で、この効果を「安くなることを予測する」と名づけている。

典拠：クリス・アンダーソン「フリー <無料>からお金を生み出す新戦略」(NHK 出版 2009 年)

## 2. 修正の内容

「1. 修正の理由」に記載した理由により、平成28年12月期と平成29年12月期における連結売上高及び連結営業利益の数値目標を以下のとおり上方修正いたします。

なお当該理由が平成27年12月期の収益に与える影響は軽微であるため、平成27年2月13日付で公表いたしました平成27年12月期通期連結業績予想数値に変更はありません。今後、業績予想修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

### <修正前>

中期経営計画3か年目標（単位：百万円）

	平成26年12月期 (実績)	平成27年12月期 (計画)	平成28年12月期 (計画)	平成29年12月期 (計画)
連結売上高	2,172	3,078	<u>4,411</u>	<u>5,853</u>
連結営業利益	△2,766	△765	<u>296</u>	<u>1,107</u>

### <修正後>

中期経営計画3か年目標（単位：百万円）

	平成26年12月期 (実績)	平成27年12月期 (計画)	平成28年12月期 (計画)	平成29年12月期 (計画)
連結売上高	2,172	3,078	<u>4,691</u>	<u>6,773</u>
連結営業利益	△2,766	△765	<u>454</u>	<u>1,712</u>

※ 変更部分には下線を付しております。

以上